

超密植桑園の簡易造成法

農業研究センター 農産園芸研究所 生物資源部

担当者：西口 達郎

研究のねらい

特別に枝条採取用桑園を準備することなく、前年の晩秋期に収穫後の残条を用いて超密植桑園を造成する技術を開発するとともに、造成時のポリマルチの効果及び除草剤の効果的使用法について明らかにする。

研究の成果

- 1 前年の晩秋期に地上25cmで機械収穫した残条を翌春20cm程度に切り取って横伏せして造成した桑園と、枝条採取用桑園から長さ50cmの条を採取し横伏せして造成した桑園では、収量に大きな差は認められず、特別に枝条採取用桑園を確保しなくても低コストに桑園を造成できる(表1)。
- 2 桑園造成時の横伏せ枝条へのポリマルチ被覆は、発芽促進、枝条伸長、初年目収量の増加に効果がある(表2)。
- 3 超密植桑園の雑草防除は、プリグロックス液剤とトレファノサイド液剤の混合散布が、薬害も認められず最も雑草抑止効果が高い(表3)。

普及上の留意点

- 1 枝横伏せ上の覆土は5cm程度とし、深くなりすぎないようにする。
- 2 ポリマルチは条伏せした畦上に行い、発芽と同時に切り裂く。
- 3 桑園造成時や収穫後の裸地状態の時に除草剤散布を行う。

表1 春切枝葉の構伏による簡易造成

区	桑品種	伏込条長	10a 当り収量		
			条桑量	葉量	葉量歩合
		cm	kg	kg	%
対照区	みつみなみ	50.0	1,556	1,013	65.1
試験区	"	19.1	1,842	1,206	65.5
対照区	桑FI系統	50.0	2,499	1,513	60.5
試験区	"	20.2	2,306	1,342	58.2

表2 造成時のポリマルチの効果

試験区	桑品種	120 日後		10a 当たり収量	
		発芽率	条長	条桑量	葉量
		%	cm	kg	kg
無被覆	みつみなみ	26	50.3	635	478
畦間被覆	"	24	95.7	1,770	1,178
横伏せ枝上被覆	"	40	73.5	1,570	1,092
無被覆	桑FI系統	44	64.6	849	571
畦間被覆	"	39	95.6	1,742	1,013
横伏せ枝上被覆	"	71	84.6	1,785	1,056

表3 除草剤の効果（春切桑園の雑草量）

試験区	薬剂量（10a）	雑草量			雑草量 年間計
		5月20日	8月20日	10月17日	
		g	g	g	g
無散布	-	1,532	1,692	245	3,469
コダール粒剤	5kg	424	238	6	668
プリグロックス液剤	1,000cc	1,670	46	9	1,725
プリブロックス液剤 + トレファノサイド液剤	1,000cc 350cc	22	0	1	23
バスタ液剤	350cc	25	39	26	90
トレファノサイド液剤	350cc	5	236	6	247

注) 雑草量は 1 m²当りの重量。
液剤の散布量は 10a 当たり 100l。